
QA3 「外部被ばく」と「内部被ばく」は、どう違うのですか。

被ばくとは、人体が放射線を浴びることをいい、「外部被ばく」と「内部被ばく」の2つがあります。

「外部被ばく」とは、体の外にある放射性物質から放出された放射線を受けることです。

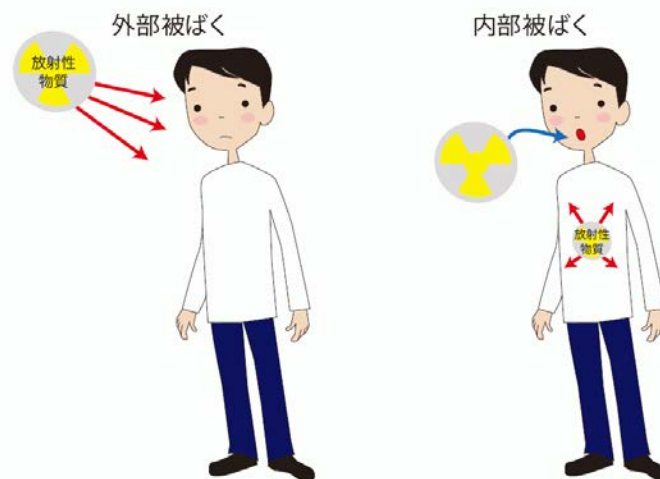
「外部被ばく」は、放射性物質から離れれば、被ばく量が減ります（例えば、距離が2倍になれば被ばく量は1/4になります）。

「内部被ばく」とは、放射性物質を含む空気、水、食物等を摂取して、体内に取り込んだ放射性物質から放射線を受けることです。体内に取り込まれる主な経路には、①飲食で口から（経口摂取）、②空気と一緒に（吸入摂取）、③皮膚から（経皮吸収）、④傷口から（創傷侵入）の4とおりがあります。

「内部被ばく」は放射性物質が体内にあるため、体外にその物質が排出されるまで被ばくが続きます。体内の放射性物質は、時間が経つにつれて減少します。

外部被ばくでも内部被ばくでも、Sv（シーベルト）で表す数字が同じであれば、人体への影響は同じです。内部被ばくでは、体内での滞留状況に応じた放射性物質からの被ばくが続くことを考慮して線量が計算されています。

なお、私たちは日常の生活の中でも自然放射線によって「外部被ばく」と「内部被ばく」を受けています。



統一的な基礎資料の関連項目

上巻 第2章 23 ページ「外部被ばくと内部被ばく」

出典：消費者庁「食品と放射能 Q&A」（第10版）より作成

出典の改訂日：平成28年3月15日

本資料への収録日：平成26年3月31日（第8版による）

改訂日：平成28年3月31日